

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年1月13日 (17:30 ~ 18:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 櫻井、堂前、北川、小山、上田、富田、織田、宝鏡、佐藤 (恵)、藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よくできている | なんとかできている | あまりできていない | ほとんどできていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--------------------|---------|-----------|-----------|------------|----------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 0人 | 7人 | 3人 | 0人 | 10人 |

| | |
|------------------|---|
| 前回の改善計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・本人のニーズを把握しながら、適切なサービスの提案・提供を行う。 ・ミーティングを継続し、急なサービス変更に対しても対応できるよう情報を整理、共有する。 ・家族 (主介護者) の状況や関係性も考えながら、支援計画を立案し共有行う。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・昼のミーティング行い、情報共有を行うことが出来た。 ・申し送りや記録を通して利用者様のその日の状態を整理し、適切なサービス提供が出来た。 ・利用者本人のニーズは把握できているが、職員によって家族 (主介護者) との会う機会に差があり状況理解に不足を感じた。 ・建設的なサービスの提案や計画の立案が不十分だった。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よくできている | なんとかできている | あまりできていない | ほとんどできていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--|---------|-----------|-----------|------------|----------|
| ① | 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか? | 1 | 8 | 1 | 0 | 10 |
| ② | サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか? | 0 | 8 | 2 | 0 | 10 |
| ③ | 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか? | 0 | 10 | 0 | 0 | 10 |
| ④ | 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか? | 1 | 5 | 3 | 1 | 10 |

| | |
|--|------------------------------|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> ・日々のミーティングを通して情報共有ができている。 ・申し送りや日々の記録を見て、利用者さんの状態を確認することができている。 ・新規の利用者様や家族様が不安なく過ごせるように、柔軟な対応が行えている。 ・サービスの導入時は、他職員と複数回の同行訪問や、情報提供や交換をこまめに行うようにしている。 | |

| | |
|---|-------------------------------|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> ・サービスの提案や計画の立案が職員によって差がある。 ・サービス開始時にスタッフ全員が同量の情報を共有できていない。 ・勤務形態によって全員がミーティングに参加することができていない。 ・職員によってサービスの理解度に差がある。 ・カルテの情報以外で利用者のことを深く理解できていない。 | |

| | |
|--|----------|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・継続的なミーティングの実施により、急なサービス変更や開始時においても、職員が情報を整理・共有できるようにする。 ・記録や情報だけでなく、利用者本人と関わっていく中で関係性を構築し、本人のニーズを理解する。 | |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年1月13日 (17:30 ~ 18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 櫻井、堂前、北川、小山、上田、富田、織田、宝鏡、佐藤(恵)、藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 0人 | 7人 | 3人 | 0人 | 10人 |

| 前回の改善計画 |
|--|
| ・継続して利用者の声に耳を傾けながら関わり、ご家族やケアマネとも連携しながら支援を行う。 ・業務内容の見直しと改善を行い、外出行事など、きらめき外での活動を増やす。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |
| ・送迎時や訪問時は、利用者や家族の声を聞くように努めた。 ・季節に応じての外出活動ができていたが、業務の都合により外出行事やきらめき外での活動の機会を確保することは出来なかった。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか? | 0 | 8 | 2 | 0 | 10 |
| ② | 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか? | 0 | 7 | 3 | 0 | 10 |
| ③ | 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか? | 0 | 4 | 6 | 0 | 10 |
| ④ | 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか? | 0 | 8 | 2 | 0 | 10 |

| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
|--|------------------------------|
| ・利用者本人の声や家族からの声を聞き取ることができている。 ・利用者に関わりながら、利用者本人のやりたいことや思いの聞き取りができている。 ・日々のかかわりの中で、気づいたことは記録し共有できている。 | |

| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
|--|-------------------------------|
| ・家族支援を行う上で家族とのかかわり方に難しさを感じることが多い。 ・ケアプランを意識した支援が不十分である。 ・日々のかかわりが本人の目標と違ってしまう時がある。 | |

| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
|--|----------|
| ・本人の思いややりたいことは、記録し共有していくことで自立支援に繋げていく。 ・送迎の際は、利用者家族との対話や困りごとを聞くなどを行い、信頼関係の構築をしていく。 ・外出活動だけでなく、施設内での活動を充実させ本人の目標に向けた支援を行っていく。 | |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年1月13日 (17:30 ~ 18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 櫻井、堂前、北川、小山、上田、富田、織田、宝鏡、佐藤(恵)、藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 0人 | 8人 | 2人 | 0人 | 10人 |

| 前回の改善計画 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">他職種とも連携し、利用者の情報を共有する。情報を元に変化を読み取り、支援を行う。「出来る事」「出来ない事」を判断しながら支援を行う。出来る事を大切に、在宅生活の継続を考えた支援を行う。家族や地域住人、他利用者との関わりでも本人の状態や生活の変化を読み取る。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |
| <ul style="list-style-type: none">利用者本人の状態に変化があれば、ケアマネや訪問看護に共有し支援することが出来た。本人の声や気持ちを汲み取り、可能な限りは自身で取り組めるように支援することが出来た。送迎の際は家族との関係性を築き、自宅での様子や困りごとを相談できる環境づくりに努めた。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか? | 0 | 8 | 2 | 0 | 10 |
| ② | 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか? | 0 | 7 | 3 | 0 | 10 |
| ③ | ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか? | 0 | 4 | 6 | 0 | 10 |
| ④ | 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか? | 0 | 8 | 2 | 0 | 10 |
| ⑤ | 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか? | 0 | 8 | 2 | 0 | 10 |

| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
|--------|--|
| | <ul style="list-style-type: none">利用者の情報を記録やミーティングで共有することができている。心身の変化があったときは、全体で共有することで最適な支援を検討することができている。利用者自身でできることは、自身で行えるように支援できている。 |

| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
|---------|--|
| | <ul style="list-style-type: none">以前の暮らし方を10個以上把握できていない利用者がある。以前の暮らしだけでなく、現在の暮らしについても十分に理解できていない。利用者の本心や声にならない声をうまくみ取ることができていない。 |

| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
|---------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none">継続してミーティングを行い、利用者の情報や状態を共有し、統一したケアを提供する。利用者本人だけでなく、家族からも自宅での様子や状態の変化を聞き取る。利用者の出来ることを尊重し、在宅生活の継続の支援をする。 |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年1月13日 (17:30 ~ 18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 櫻井、堂前、北川、小山、上田、富田、織田、宝鏡、佐藤(恵)、藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よくできている | なんとかできている | あまりできていない | ほとんどできていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|---------|-----------|-----------|------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 0人 | 4人 | 5人 | 1人 | 10人 |

前回の改善計画

- ・多職種と連携しながら情報共有を行う。
- ・地域資源について学び、行事イベントに活かしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者の連絡ノートを用いることで、家族や多職種との間で、情報の共有を行うことが出来た。
- ・利用者対応を優先した結果、地域資源について学ぶことが出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よくできている | なんとかできている | あまりできていない | ほとんどできていない | 合計(総人数) |
|-----------|--|---------|-----------|-----------|------------|---------|
| ① | 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか? | 0 | 5 | 5 | 0 | 10 |
| ② | 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか? | 0 | 5 | 5 | 0 | 10 |
| ③ | 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか? | 0 | 4 | 5 | 1 | 10 |
| ④ | 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか? | 0 | 1 | 6 | 3 | 10 |

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者の共有ノートを使用することで、家族とのやり取りや医療との連携ができている。
- ・訪問を通して自宅での本人の過ごし方を理解しようとしている。
- ・認知症の症状により地域や家族との良好な関係が崩れてしまいそうときは、間に入って関係の調整ができるように心がけている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・小規模内での過ごし方に焦点が当たってしまうため、自宅での過ごし方や地域との関わり方を把握することができていない。
- ・利用者全員の施設以外での過ごし方を把握できていない。
- ・地域の民生委員とのつながりがなく、地域資源を生かし切れていない利用者もいる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・利用者家族や多職種と継続して連携しながら情報共有を行う。
- ・日々の記録や利用者とのかかわりの中で、在宅での過ごし方や生活のリズムを把握し支援に繋げる。
- ・現在の業務を改善し、会議やイベントに参加することで地域との関わりを増やしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年1月13日（ 17:30 ～ 18:30 ）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 櫻井、堂前、北川、小山、上田、富田、織田、宝鏡、佐藤（恵）、藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よくできている | なんとかできている | あまりできていない | ほとんどできていない | 合計（総人数） |
|-----------|--------------------|---------|-----------|-----------|------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組めましたか？ | 0人 | 4人 | 4人 | 2人 | 10人 |

前回の改善計画

- ・地域資源について学び、行事イベントに活かしていく。
- ・本人の周囲の環境変化を把握し、関係事業所とも情報共有を行いながら支援を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・地域資源についての学習会を行うことが出来なかった。
- ・冬季の積雪時は、利用者の環境変化を把握し、泊りのサービスを追加するなどの柔軟なサービス提供が出来た。

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よくできている | なんとかできている | あまりできていない | ほとんどできていない | 合計（総人数） |
|-----------|---|---------|-----------|-----------|------------|---------|
| ① | 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？ | 0 | 5 | 3 | 2 | 10 |
| ② | ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？ | 0 | 7 | 3 | 0 | 10 |
| ③ | 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？ | 1 | 7 | 2 | 0 | 10 |
| ④ | その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？ | 0 | 8 | 2 | 0 | 10 |

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者本人や家族の状態に合わせて柔軟なサービス提供が行えるようにしている。
- ・配食弁当や生協の配達を活用している
- ・体調不良の際は、臨時での医療の往診や泊りのサービスを提供し対応している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域資源を使った支援ができていない。
- ・独居や家族支援の受けにくい利用者様のサービスが過剰気味になり、自立支援の妨げになっているように感じる時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・地域資源の学習会を実施し、イベント活動に参加することで地域資源について学んでいく。
- ・利用者の心身の状態や、季節ごとの環境変化について職員間で情報共有を行いながら支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年1月13日 (17:30 ~ 18:30)

6. 連携・協働

メンバー 櫻井、堂前、北川、小山、上田、富田、織田、宝鏡、佐藤(恵)、藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よくできている | なんとかできている | あまりできていない | ほとんどできていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|---------|-----------|-----------|------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 0人 | 4人 | 6人 | 0人 | 10人 |

| | |
|------------------|--|
| 前回の改善計画 | <ul style="list-style-type: none">きらめき祭りやカフェを継続開催し、地域と関わる場を作る。勤務調整行いながら、外部との関わりをもてる職員を増やす。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | <ul style="list-style-type: none">昨年に続き10月にきらめき祭りを開催することが出来た。週に1度認知症カフェを開催できているが、職員が立ち会う機会が少なく、地域との交流には至らなかった。会議に出席する職員が固定化されており、現場の職員が会議に参加することが出来なかった。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よくできている | なんとかできている | あまりできていない | ほとんどできていない | 合計(総人数) |
|-----------|--|---------|-----------|-----------|------------|---------|
| ① | その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等)の他事業所との会議を行っていますか? | 0 | 3 | 2 | 5 | 10 |
| ② | 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか? | 0 | 1 | 3 | 6 | 10 |
| ③ | 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか? | 1 | 0 | 5 | 4 | 10 |
| ④ | 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか? | 1 | 4 | 2 | 3 | 10 |

| | |
|---|------------------------------|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none">認知症カフェを定期的で開催できている。祭りを開催し、地域の方々がきらめきに来る機会ができていた。サービス機関との会議を行ったり、共有するべきことは即対応することができている。 | |

| | |
|---|-------------------------------|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none">会議に出席する職員が決まった人しか参加できていない。自治会や町内会のイベントに参加できていない。 | |

| | |
|---|----------|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
| <ul style="list-style-type: none">きらめきの祭りや認知症カフェを継続して開催し、地域との交流を図り関係性を作っていく。担当者会議にケアマネジャーとともに現場職員が同行し参加する。 | |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年1月13日 (17:30 ~ 18:30)

7. 運営

メンバー 櫻井、堂前、北川、小山、上田、富田、織田、宝鏡、佐藤(恵)、藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よくできている | なんとかできている | あまりできていない | ほとんどできていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|---------|-----------|-----------|------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 0人 | 6人 | 3人 | 1人 | 10人 |

| | |
|------------------|---|
| 前回の改善計画 | <ul style="list-style-type: none">地域や家族の声を職員間で共有し、求められる姿を考えながら運営行っていく。地域資源を把握しながら外出活動やイベント時の協力などを行う。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | <ul style="list-style-type: none">職員会議の場で利用者や家族からの声を共有することが出来た。意見や苦情があった際は、迅速に対応できるように努めた。家族会には以前利用されていた利用者家族が参加したことで、在宅介護されている利用者家族の支援に繋げる事ができた。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よくできている | なんとかできている | あまりできていない | ほとんどできていない | 合計(総人数) |
|-----------|---|---------|-----------|-----------|------------|---------|
| ① | 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか? | 1 | 4 | 5 | 0 | 10 |
| ② | 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか? | 1 | 5 | 4 | 0 | 10 |
| ③ | 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか? | 0 | 5 | 4 | 1 | 10 |
| ④ | 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか? | 0 | 4 | 5 | 1 | 10 |

| | |
|--|------------------------------|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none">利用者や家族の意見や苦情をくみとり、全体で共有することで速やかに意見を反映することができている。意見を伝えやすい環境作りができている。家族会には、以前利用されていた利用者家族を講師として参加してもらい、現在自宅で介護されている家族の支援につなげた。 | |

| | |
|--|-------------------------------|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none">地域の行事やイベントに参加する機会がない。地域の方々の意見が聞けていない。 | |

| | |
|--|----------|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
| <ul style="list-style-type: none">家族会を継続して開催し、職員と家族、地域の交流の場を作っていく。現場職員が会議や内部の行事に参加できるよう業務を調整し、対面でのコミュニケーションの機会を作っていく。 | |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年1月13日 (17:30 ~ 18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 櫻井、堂前、北川、小山、上田、富田、織田、宝鏡、佐藤(恵)、藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 1人 | 6人 | 3人 | 0人 | 10人 |

| | |
|------------------|--|
| 前回の改善計画 | <ul style="list-style-type: none">・介護の質を向上するために計画を立てながら職員研修を開催行う。・資格取得や外部研修の参加を声掛け業務調整行い、参加できる環境を整える。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | <ul style="list-style-type: none">・オンラインでの外部研修に参加することが出来ていた。・利用者の事例検討を行うことで、介護の質の向上に努めた。・職員間での自発的な学習会の開催が不足していた。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|-----------------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか | 1 | 7 | 2 | 0 | 10 |
| ② | 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか | 0 | 4 | 4 | 2 | 10 |
| ③ | 地域連絡会に参加していますか | 0 | 2 | 4 | 4 | 10 |
| ④ | リスクマネジメントに取り組んでいますか | 1 | 4 | 4 | 0 | 10 |

| | |
|--------|---|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| | <ul style="list-style-type: none">・職場内やオンラインでの研修に参加することができている。・ヒヤリハットや事故はミーティングにて共有することができている。 |

| | |
|---------|---|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| | <ul style="list-style-type: none">・新たな資格取得ができていない。・事業所外での研修に参加することができていない。・リスクマネジメントを意識し取り組んでいるが、十分でないこともある。・職員間での学習会ができていない |

| | |
|---------------|--|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
| | <ul style="list-style-type: none">・会議において、ヒヤリハットや介護事故の共有、職員自らが再発防止への改善策を提案・立案出来るようにする。・業務の調整、改善を行い職員が外部研修へ参加しやすい体制を整える。・施設内で職員主体での学習会や利用者の事例検討をできるようにする。 |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年1月13日 (17:30 ~ 18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 櫻井、堂前、北川、小山、上田、富田、織田、宝鏡、佐藤(恵)、藤井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よくできている | なんとかできている | あまりできていない | ほとんどできていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|---------|-----------|-----------|------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 1人 | 9人 | 0人 | 0人 | 10人 |

前回の改善計画

- ・継続した研修を行い、身体拘束・虐待・プライバシーの保護・認知症への対応について理解を深めていく。
- ・業務調整を行い、研修に参加できる環境を整える。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・職場会議にて、身体拘束・虐待・プライバシーの保護・認知症対応の研修を行うことが出来たが、職員によってプライバシー保護や認知症対応のスキル差が見受けられた。
- ・外部研修に参加する職員が決まっており、多くの職員が研修に参加することが出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よくできている | なんとかできている | あまりできていない | ほとんどできていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|---------|-----------|-----------|------------|---------|
| ① | 身体拘束をしていない | 7 | 3 | 0 | 0 | 10 |
| ② | 虐待は行われていない | 6 | 4 | 0 | 0 | 10 |
| ③ | プライバシーが守られている | 5 | 5 | 0 | 0 | 10 |
| ④ | 必要な方に成年後見制度を活用している | 2 | 4 | 1 | 3 | 10 |
| ⑤ | 適正な個人情報の管理ができている | 2 | 8 | 0 | 0 | 10 |

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束や虐待のないように心がけた支援ができている。
- ・対応の仕方が適切であるか都度話し合いができている。
- ・プライバシーや個人情報について配慮することができている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・他利用者が近くにいる場で、利用者個人の話をしている。
- ・新人職員や異動されてきた職員に対しての研修ができていない。
- ・成年後見制度の適応するタイミングが分からない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・委員会を中心に身体拘束・虐待防止に関する定期的な研修を行う。
- ・身体拘束・虐待・プライバシー保護・認知症の研修を継続して行い、現場にて実践できるようにする。